

カテゴリⅢ教科書【第3版】の正誤表

2020.11.16

誤り箇所 ページ/行	誤りの内容	正しい内容
P⑨/表番号7.11 カテゴリーⅡ	ランラウト	ランナウト
P1/上から11行目	$x=Asin(\omega t-\phi)$	$x=Acos(\omega t-\phi)$
P28/下から4行目	式(1.98)	式(1.79)
P30/式(1.90)	$\varepsilon/ 1-(\omega/\omega_n)^2 $	$1/ 1-(\omega/\omega_n)^2 $
P32/式(1.94)	$48EI/ml_3$	$48EI/ml^3$
P41/図2.1.5	非接触変位セン	非接触変位センサ
P42/図2.1.7	渦電流式非接触型変位セン	渦電流式非接触型変位センサ
P42/図2.1.7	サイズモ系圧電式振動加速度セン	サイズモ系圧電式振動加速度センサ
P45/図2.2.4	「FM復調器」の器が改行により切れている	
P46/図2.2.6	永久磁	永久磁石
P46/図2.2.7	ひずみゲー	ひずみゲージ
P53/図2.4.3	ターゲッ	ターゲット
P53/図2.4.3	マイクロメー	マイクロメータ
P54/図2.4.4	リニアレン	リニアレンジ
P60/3,7行目、図 2.7.6	ISO10816-2	ISO20816-2
P97/図3.43 b)	文字と図が重なっている	適切に改行
P16/表4.5.2	軸受磨耗	軸受摩耗
P124/下から2行目	基準値はISO10816-1に記述されており	基準値はISO10816-3に記述されており
P126/式4.2	N-1	N
P133/下から10行目	ISO20186	ISO20816
P134/上から2行目	ISO20186	ISO20816
P137/上から8行目	ウォーターホール	ウォーターフォール (※テキスト内語句統一のため)
P137/下から15行目	周瀬数	周波数
P139/表4.9.1 アンパ ランスの備考	行って	一定の

誤り箇所 ページ/行	誤りの内容	正しい内容
P139/表4.9.1 原因	軸受磨耗	軸受摩耗
P141/下から1行目	日本プラントメンテナンス協会	日本プラントメンテナンス協会
P144/上から6行目	SOPA法	SOAP法
P168/上から2行目	ピンオン軸に	ピニオン軸に
P168/上から4行目	ティルテングパッド軸受	ティルティングパッド軸受
P196/上から7行目	となる(*).	となる.
P199/タイトル(1)	(1)3点トリムバランス	(1)3点バランス
P201/タイトル(2)	(2)2点トリムバランス	(2)2点バランス
P201/下から5行目	3点トリムバランス	3点バランス
P208/式(6.3.13)	「また」が式と重なっている	「また」を削除
P222/下から11行目	(5)動吸振器を追加する	(5)動吸振器を追加する
P223/上から13行目	図6.4.3	図6.6.3
P226/上から2行目	ISO-10814	ISO21940
P227/上から2行目	図6.5.4	図6.6.4
P228/下から6行目	することにおのずからから	することには
P240/上から3行目	前述の6.5.2の図6.5.4で紹介したように、ISO-10814で新たに制定された「不つりあい	前述の6.6.2の図6.6.4で紹介したように、ISO21940「不つりあい
P246/下から16行目	(1)-1 残留不釣合い	(1)-1 残留不つりあい(※テキスト内語句統一のため)
P246/下から15行目	原因の大半は残留つりあい	原因の大半は残留不つりあい
P267/図7.1.26	ISO20816-2	ISO20816-4
P269/上から9行目	図6.3.1	図6.4.3
P307/図7.5.10	軸振動ホワール成分の計測位置の線がない	(カテゴリーⅢ教科書修正部分1)
P308/下から6行目	$2f_b = f_r D / d [1 - (d/D)^2 \cos \alpha]$	$2f_b = f_r D / d [1 - (d/D)^2 \cos^2 \alpha]$
P311~312	(2), (3), (4)の一部を修正【カテゴリーⅢ教科書修正部分2】	
P313/上から13行目	磨耗が小,	摩耗が小,
P320/下から6行目	図26	図7.7.12および図7.7.15
P333/20行目	かにあい振動	かみあい振動

誤り箇所 ページ/行	誤りの内容	正しい内容
P334/式 (7.9.3),(7.9.4),(7.9.5)	太陽歯車異常: f_z 遊星歯車異常: f_z 内歯車異常: f_z	太陽歯車異常: f_{ds} 遊星歯車異常: f_{dp} 内歯車異常: f_{dr}
P335/下から4行目	テイルテングパッド	テイルテイングパッド
P340/上から3行目	オイルホイップと同じ現象	オイルホイップと同じ自励振動の現象
P340/下から2行目～ 6行目	記述を修正【カテゴリーⅢ教科書修正部分3】	
P340/下から1行目	図17.10.4	図7.10.4
P341/図7.10.3	図を修正【カテゴリーⅢ教科書修正部分3】	
P343/図7.10.11	図7.1011	図7.10.11
P344/上から13行目	図5.10.13	図7.10.13
P347/図7.10.15	図を修正【カテゴリーⅢ教科書修正部分3】	
P351/図7.10.21(ない)	(図に題がない)	図7.10.21 空気制御弁の構造
P352/上から2行目	図7.10.121に示すように	図7.10.21に示すように
P356/下から7行目	ISO10816-1	ISO20816-1
P363/下から6行目	波形のデータ刻み については	波形のデータ刻み Δt については
P363/下から4行目	$=1/(2fc)$ でサンプリング	$\Delta t=1/(2fc)$ でサンプリング
P370/図10.19、図 10.20	図10.19、図10.20	図9.19、図9.20
P372/図9.26	試験体	試験体
P380/図9.36	図を修正【カテゴリーⅢ教科書修正部分を参照】	
P383/9.5.2	9.5.2 伝達関数の求め方	9.5.2全体を修正【カテゴリーⅢ教科書修正部分5】
P391/下から1行目	表10.2	表10.2, 図10.11
P396/上から4行目	非往復動部分	非回転部分
P405/図10.7説明3・5 行目	(例図10.8)本表は廃止された. ・・・図10.7に変更された.	(図10.7)本表は廃止された. ・・・図10.8に変更された.
P407/表10.5	618:1995, 674:1995	618:2007, 674:2010
P409/表10.6(1)	API規格:API618(4th ed)	API規格:API618(5th ed)
P409/表10.6(1)	振動許容値:特に規定無し	・配管振動の許容値有り ・配管内圧力振動の許容値有り
P424/表12.2	表を修正【カテゴリーⅢ教科書修正部分6】	
P424/図12.2	図を修正【カテゴリーⅢ教科書修正部分3】	

誤り箇所 ページ/行	誤りの内容	正しい内容
P425 / 上から18行目	ISO10816-3に「産業機械」(6章 図4.6.1)	ISO10816-3に「産業機械」(4章 図4.6.1)
P427 / 表12.6	kutosis	kurtosis